

令和元年度 公益財団法人山梨県スポーツ協会事業報告書

事業報告

事業概要

本協会は、県民のスポーツニーズを的確にとらえ、県民一人ひとりがスポーツに親しめるよう、スポーツの振興を図っていく公益財団法人としての使命を果たすため、経営計画やスポーツ推進計画に基づき、加盟団体との連携を一層強化しながら「スポーツ協会の運営」、「スポーツの推進」、「利用環境・効率の向上」を重点に次の事業を行った。

事業実施状況

(法人管理)

I スポーツ協会の運営

1 公益財団法人山梨県スポーツ協会への名称変更

本協会は、昭和4年に山梨県体育協会として創立され、平成30年に創立90周年を迎えた。この創立90周年を機に、スポーツの統一組織として多くの人々にスポーツへの参画を促し、スポーツという文化を後世に継承していくことを基本的な考え方として、平成31年4月1日をもって「公益財団法人山梨県スポーツ協会」に名称変更した。

2 理事会、評議員会等の運営

(1) 理事会	第1回(通常)	令和元年6月 4日(火)
	第2回(通常)	令和元年8月 2日(金)
	第3回(通常)	令和2年 3月12日(木) ※書面による決議
(2) 評議員会	定 時	令和元年6月20日(木)
	臨 時	令和2年 3月24日(火) ※書面による決議
(3) 総務委員会	第1 回	令和2年 5月30日(木)
	第2回	令和元年7月30日(火)
	第3回	令和2年 3月 6日(金) ※書面による意見聴取

※3月開催の理事会、評議員会、総務委員会については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面による決議または意見聴取とした。

(4) 加盟団体関係会議

平成31年4月10日(水) 加盟競技団体・学校体育団体理事長会議

平成31年4月10日(水) 市町村体育・スポーツ協会事務局長・事務担当者会議

3 事務局の運営

(1) 本協会が実施する事業推進のため、自主財源の確保に努めた。

ア 賛助会員の加入募集

イ 寄附金(免税寄附金)の募集及び制度の活用促進

(2) 総合的人材育成システムの運用

「人材育成基本方針」に基づき、職員の資質向上のため、研修会の開催や各種講習会及び資格取得研修への参加等、総合的な人材育成を行うとともに、職員倫理やコンプライアンスの徹

底、向上を図った。

(公益目的事業)

II スポーツの推進

1 第2期スポーツ推進計画の策定

本協会では、平成27年から5年間に本協会が取り組むべきスポーツ振興の在り方を示した「スポーツ推進計画」を策定し、この実現のため取り組んできた。令和元年度が最終年度となることから、これまでの進捗状況や課題について検証し、国や山梨県等のスポーツ施策をもとに再構築し、令和2年度から5年間のスポーツ振興の指針となる「第2期スポーツ推進計画を策定」した。

2 専門委員会の開催

スポーツの推進を図る上で必要な事項について検討するため、専門委員会を開催した。

- | | | |
|-------------------|-----|--------------------------|
| (1) スポーツ振興委員会 | 第1回 | 令和元年 6月 5日(水) |
| | 第2回 | 令和元年11月 6日(水) |
| | 第3回 | 令和元年 3月 4日(水) ※書面による意見聴取 |
| (2) 広報委員会 | 第1回 | 令和元年 5月15日(水) |
| | 第2回 | 令和元年11月13日(水) |
| | 第3回 | 令和2年 3月 3日(火) ※中止 |
| (3) スポーツ医・科学委員会 | 第1回 | 令和元年 6月 6日(木) |
| | 第2回 | 令和元年11月14日(木) |
| | 第3回 | 令和2年 3月 5日(木) ※書面による意見聴取 |
| (4) 境川自転車競技場運営委員会 | 第1回 | 令和元年 5月 7日(火) |
| | 第2回 | 令和2年 3月 2日(月) |
| (5) スポーツ少年団常任委員会 | 第1回 | 令和元年 5月16日(木) |
| | 第2回 | 令和元年 6月28日(金) |
| | 第3回 | 令和元年10月10日(木) |
| | 第4回 | 令和2年 2月27日(木) |

※3月3日以降開催の各委員会については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止または書面による意見聴取とした。

3 子どものスポーツ機会の充実

(1) スポーツ少年団の育成

ア スポーツ少年団組織の活性化

スポーツ少年団組織の活性化を図るため、理念と意義の浸透、指導者養成と資質の向上、幼児加入に対する取り組みについて、内容、方法を検討した。

イ 団員交流の促進

特定の種目に偏らず、さまざまなスポーツを体験させ運動感覚を養うとともに、野外活動や文化活動等をとおして創造性や協調性を育むことを目的に、各種大会の開催及び助成を行うとともに、各種中央大会への団員及び指導者の派遣を行った。

(ア) 県内交流事業

- a 第41回山梨県スポーツ少年大会の開催
令和元年8月3日(土)から4日(日)八ヶ岳少年自然の家
参加団員58名 指導者5名
- b 第12回山梨県スポーツ少年団フェスティバルの開催
平成31年4月6日(土) 小瀬スポーツ公園 武道館
参加団員164名
- c 第38回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会予選会の開催
バドミントン 令和元年6月9日(日) 参加団員20人
空手道 令和元年6月9日(日) 参加団員92人
軟式野球 令和元年6月15日(土)・16日(日) 参加団16チーム
バスケットボール 令和元年6月9日(日)・16日(日)・23日(日) 参加団68チーム
バレーボール 令和元年6月23日(日)・30日(日) 参加団37チーム
- d 全国スポーツ少年団競技別交流大会予選会の開催
バレーボール 令和元年11月3日(日) 参加団11チーム
剣道 令和元年12月7日(土) 参加団員178人

(イ) 県外交流事業

- a 第50回関東ブロックスポーツ少年大会への派遣
令和元年8月23日(金)から25日(日) 千葉県立鴨川青年の家
参加団員1名 指導者1名
- b 第57回全国スポーツ少年大会への派遣
令和元年8月1日(木)から4日(日) 長崎県立佐世保市青少年の天地
参加団員4名 指導者1名
- c 第38回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会への派遣
軟式野球・バレーボール・ミニバスケットボール・バドミントン・空手道
令和元年7月26日(金)から28日(日) 群馬県
参加:団員92人 指導者:24人
- d 全国スポーツ少年団競技別交流大会への派遣
第42回 剣道 令和2年3月27日(金)から29日(日)長野県 ※中止
第17回 バレーボール 令和2年3月27日(金)から30日(月)岐阜県 ※中止
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

ウ 市町村スポーツ少年団の組織強化

スポーツ少年団組織の指導体制の強化と組織の資質向上を目指し、その機能を充実させるため、団員交流や単位団の活性化を図った。

(ア) スポーツ少年団市町村事務担当者会議の開催 令和2年2月18日(火)

スポーツ少年団の理念と意義や単位団の活動のあり方等の理解を深めてもらうとともに、各市町村の課題や情報を共有することによる連携強化を図るため、担当者会議を開催した。

(イ) 県内スポーツ少年団交流事業への助成

県内市町村スポーツ少年団において団員の交流を図る事業に助成した。

(ウ) 県外スポーツ少年団交流事業への助成

近隣の県外団員との交流を促進し、団活動の活発化を図る事業に助成した。

(エ) 母集団育成事業への助成

単位団を支える”母体となる集団”の育成を図る事業に助成した。

(オ) 体力テスト事業への助成

自己の体力を把握し、健康管理や体力づくりを促進する事業に助成した。

(カ) 指導者育成事業の委託

指導者の資質向上並びに指導者組織の整備拡充を図るための事業を委託した。

(2) スポーツの巡回指導

子ども達が身体活動の持つ楽しさや成功体験を経験することにより、将来的なスポーツへの可能性を広げられる事業として「子どもスポーツキャラバン」を昭和町管内3か所の児童館等で3回実施した。

4 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

(1) スポーツ大会の開催

ア 山梨県体育祭り

県民一人ひとりがスポーツに親しみ、豊かなスポーツライフの創造と地域のスポーツ振興を図り、明るく豊かで活力あるふるさとづくりを目的に開催した。

(ア) 平成31年度実行委員会総会の開催

(第72回夏秋季大会・第73回冬季大会)

平成31年4月26日(金)

(イ) 第72回夏季大会(参加監督・選手762人)

カヌー競技 令和元年5月25日(土) 精進湖カヌー競技場

ボート競技 令和元年6月15日(土) 河口湖漕艇場

セーリング競技 令和元年6月16日(日) 山中湖村ヨットハーバー沖

少林寺拳法競技 令和元年7月7日(日) いちみや桃の里公園

水泳競技 令和元年8月18日(日) 小瀬スポーツ公園水泳場

(ウ) 第72回秋季大会(参加監督・選手7,552人)

組合せ抽選会 ラグビーフットボール競技 令和元年7月9日(火)

以外得点競技 令和元年7月24日(水)

中心会期(41競技) 令和元年9月14日(土)・15日(日)・22日(日)

小瀬スポーツ公園他

総合開会式 令和元年9月14日(土) 小瀬スポーツ公園武道館

総合閉会式 令和元年9月22日(日) 小瀬スポーツ公園武道館

(エ) 第73回冬季大会(参加監督・選手40人)

スケート競技(フィギュア) 令和元年12月15日(日) 小瀬スポーツ公園アイスアリーナ

スケート競技(スピード) 令和2年2月11日(火・祝) 八ヶ岳スケートセンター

スキー競技 令和2年3月15日(日) ※中止

アイスホッケー競技 令和2年3月28日(土)29日(日) ※中止

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

イ 山梨県スポーツ・レクリエーション祭

「第1回全国スポーツ・レクリエーション祭」の開催を記念して、県民が気軽に参加でき、スポーツ・レクリエーションを楽しみながら、交流を深める場となることを目的に開催した。

(ア) 平成31年度実行委員会総会の開催

平成31年4月8日(月)

(イ) 第31回山梨県スポーツ・レクリエーション祭

令和元年5月12日(日)、18日(土)、19日(日)、26日(日)

マスターズ陸上競技など19種目 2協賛種目 参加選手4,509人

ウ 第56回県一周駅伝競走大会

スポーツ県やまなし宣言記念事業の一環として、県内各地区の代表チームによる県一周駅伝競走大会を開催し、スポーツの普及啓蒙を図った。

令和元年11月30日(土)から12月1日(日) 参加18チーム

(2) 参加機会の充実

ア スクールの開催

(ア) スポーツ健康づくり教室

生涯スポーツの必要性及び継続して行うことの大切さを理解してもらえよう、スポーツや運動をする機会を提供し、サークル活動等による自主的な活動への発展を促し、スポーツライフを支援した。

小瀬スポーツ公園 教室数 96 参加者数 6,310人

富士北麓公園 教室数 13 参加者数 321人

(イ) トレーニング室利用者証の発行・実技指導

a 利用者証の発行

初回のトレーニング室利用者を対象に、トレーニング室の安全な利用を図るため利用説明を行い利用者証を発行した。

利用者証発行者数 3,502人

b 体質改善プログラムの提供

メタボリックシンドローム改善の為、体組成測定器を用い、筋・脂肪割合、体組成成分、メタボリック情報など10項目について評価を行い、それに基づいて適切な運動プログラムを提供した。

実施者数 1,979人

c 実技指導

利用者の目的に応じたトレーニングメニューを提供するとともに、機器の効果的な使用方法を指導した。

実技指導実施者数 7,647人

(ウ) 富士北麓公園フリーウエイトトレーニング室利用講習会

フリーウエイトトレーニング室利用者が、利用基準にしたがって施設を安全により効果的に利用してもらうため、講習会を開催し修了証を発行した。

利用講習会受講者数 150人(31回開催)

(エ) 軽スポーツの普及

山梨県レクリエーション協会と連携し、家族や地域の人たちの絆を深めるきっかけづくりに繋がる軽スポーツやニュースポーツを体験できる場を提供した。また、ルール解説などをまとめたガイドブックをスポーツ、教育、高齢者等の関係機関に配布した。

イ スポーツフェスティバルの開催

各年齢層に応じたスポーツを楽しむ機会やふれあいの場を提供し、スポーツの楽しさと爽快感を体験するとともに、スポーツへの興味や関心を高め、スポーツを実践する動機づけとした。なお、オリンピック・パラリンピック種目の中で、体験機会の少ない競技種目を紹介、体験することを目的とした「キッズ トライ スポーツ」を開催した。また、著名なアスリートとの交流を図るイベント「ビクトリークリニック」及び「フットサル大会」を企画したが、新型コロナウイルス感染拡大防止措置としてこれを中止とした。

小瀬スポーツ公園	実施イベント日数	16日	参加者数	3,138人
富士北麓公園	実施イベント日数	8日	参加者数	1,140人

ウ セミナーの開催

(ア) スポーツ医・科学セミナー

国体強化選手、指導者及びスポーツ愛好者等を対象に、スポーツ医・科学委員会と連携し、健康の保持増進や体力づくり、競技力の向上等を目的としたスポーツ医学やスポーツ科学のセミナーを開催した。

令和2年2月24日(祝月) 参加者49名

「女性アスリートのためのコンディショニング

～ 女性の身体的特性をふまえた指導とは? ～」

(イ) 健康・体力づくりセミナー

スポーツを愛好している一般の人たちを対象に、身近なスポーツの技術・技能の紹介や健康・体力づくりの基礎的な知識を提供するセミナーを開催した。

第1回 「より効果的なレジスタンストレーニングを学ぶ」

平成31年4月26日(金) 参加者数 7人

第2回 「自分の健康は自分で守る」

令和2年3月14日(土) ※新型コロナウイルス感染拡大防止措置により中止

(3) 地域スポーツの推進

ア 高者向け体力測定

活力ある超高齢化社会を目指し、身体運動の基本となる歩行能力評価と運動指導をセットにし、笛吹市長寿介護課が実施している事業(百歳体操)に合わせて7グループに対して運動プログラムを提供した。

イ 指導者派遣

地域・職場・サークル等が行うスポーツ活動を支援するため、要望に応じ指導者を派遣し、健康・体力づくりの指導を行った。

指導者派遣 23回 参加者数821人

ウ 軽スポーツ用具の貸出

地域・職場・サークル等が行うスポーツ活動に対して、軽スポーツ用具の貸し出しを行った。

小瀬スポーツ公園 貸出回数 161回 延利用者数 13,763人

富士北麓公園 貸出回数 35回 延利用者数 961人

(4) 障がい者スポーツの推進

専門的知識やノウハウなどの情報を有する山梨県障害者スポーツ協会のほか、各専門関係団体と連携し、障がい者と健常者が共に参加できるイベントとして、3on3大会とカーリング大会を開催した。

5 競技スポーツの推進

(1) 競技力の向上

本県選手が国民体育大会や各種大会等において優秀な成績を収めることができるよう競技力の向上を図るとともに、県民のスポーツへの関心を高める事業を実施した。

ア 競技力向上対策本部の運営

(ア) 本部会議(年4回)

令和元年6月25日(火)、9月5日(木)、11月7日(木)、令和2年3月5日(木)

※令和2年3月5日は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

(イ) 理事長、事務局長、主任強化コーチ会議(年3回)

国体出場競技団体の理事長、事務局長、主任強化コーチ等に対し、競技力向上に関する説明会や研修会を実施した。

令和元年5月23日(木)、7月4日(木)、11月12日(火)、令和2年3月10日(火)

※令和2年3月10日は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

(ウ) 国体派遣担当者・事務担当者会議

国体派遣担当者・事務担当者等に対し、国体に関する説明会を実施した。

令和元年7月4日(水)

(エ) 競技団体個別会議

対策本部委員と競技団体競技力担当者が面談を行い、今後の課題、方針などの意見交換を行った。

冬季競技 …令和元年7月17日(水)

本国体競技…令和2年1月20日(月)・21日(火)・22日(水)・23日(木)

イ 一貫指導体制の確立

(ア) ジュニアアスリート・トータルサポート事業

山梨県内の競技団体に対して、競技の普及や選手発掘を目的に小学生から中学生(ターゲットエイジ)を対象とし、複数競技団体で実施する合同発掘事業と単独で実施する個別発掘事業に助成した。また、発掘したターゲットエイジを対象に技術向上の練習会や、国体に近年導入された女子種目の選手を強化する事業に助成した。

また、東京オリンピックに出場する可能性が高い選手が、県内ジュニア選手及び指導者を対象に講習会を行い、県内選手・指導者の競技力向上及び指導力向上を図るため、その実施に係る経費の一部を助成した。

さらに、この事業をより効果的に実施するため、日本スポーツ協会が主催する「ジャパン・ライジング・スター・プロジェクト」のウェイトリフティング競技に参画し、全国の有能なジュニアアタレントとともに合宿等を開催した。

a ジャパン・ライジング・スター・プロジェクト実行委員会

第1回 令和元年 7月11日(木) 小瀬スポーツ公園武道館第1会議室

第2回 令和元年11月14日(木) 小瀬スポーツ公園武道館第1会議室

b 拠点県合宿 山梨県立日川高等学校・山梨市民総合体育館

第1回合宿 平成31年4月28日(日)から30日(火)

第2回合宿 令和元年8月10日(土)から12日(月)

第3回合宿 令和元年11月2日(土)から4日(月)

ウ 競技団体等への支援

(ア) 競技団体選手強化事業

a 成年・少年

国民体育大会に向けての候補選手(指導者を含む)を対象とした強化事業に対し助成した。

(イ) 成年チーム指定強化事業

a 重点チーム強化

国民体育大会において優秀な成績を収めるため、重点強化チーム9チームを指定し、強化事業に対し助成した。

b 指定チーム強化

成年選手の競技力の維持向上を目指して、大学・企業・クラブチーム13チームを指定し、強化事業に対し助成した。

(ウ) 海外派遣奨励金の交付

日本代表として世界選手権等の大会に海外派遣される個人7人に対し、奨励金を交付した。

(エ) 競技団体等主催大会等助成事業

県内で開催された関東大会以上の15大会に対し、運営費の一部を助成した。

(オ) 2020年東京オリンピック選手助成・支援事業

東京オリンピックにおいて選手になる可能性を十分有している本県出身選手15人に対し、東京オリンピックや国民体育大会において活躍を応援するため、競技活動に対し助成した。

認定証交付式 平成31年4月25日(木)

(カ) 山梨県スポーツ協会特別助成事業

国民体育大会において上位入賞を目的に7競技団体に対して強化に関する競技備品購入に対し助成した。

(キ) 練習場確保事業

県立射撃場の整備凍結に伴う競技団体の練習場確保事業に対し助成した。

エ 国民体育大会選手等の選定及び派遣

予選会を実施し、選手の選考を経て、本県選手団を派遣した。

(ア) 第74回国民体育大会関東ブロック大会

中心会期 令和元年 8月23日(金)から25日(日) 千葉県

本部役員10人 監督・選手718人

(イ) 第74回国民体育大会

会期前実施 令和元年 9月7日(土)から16日(月) 茨城県

(水泳・体操・ビーチバレー)

本大会 令和元年 9月28日(土)から10月8日(火) 茨城県

<開会式 令和元年 9月28日(土)>

本部役員25人 監督・選手365人

(ウ) 第75回国民体育大会

冬季大会関東ブロック大会

令和元年12月6日(金)から8日(日)(アイスホッケー) 群馬県

監督・選手37人

冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会

令和2年 1月29日(水)から2月2日(日) 青森県

本部役員8人 監督・選手43人

冬季大会スキー競技会

令和2年 2月16日(日)から19日(水) 富山県

本部役員7人 監督・選手30人

(エ) 日本スポーツマスターズ2019への派遣

令和元年 8月31日(土)から 9月1日(日)(水泳) 岐阜県

令和元年 9月11日(水)から13日(金)(ゴルフ)

令和元年 9月14日(土)から16日(月)(空手道)

令和元年 9月20日(金)から24日(火)(中心会期)

オ 医・科学サポート

(ア) 医学的サポート

国体に参加する選手(含:関東ブロック大会)から提出された健康調査票を基に、メディカルチェックを実施し、選手の健康管理を行った。

(イ) 科学的サポート

栄養関係、心理関係の分野について、国体参加競技団体を対象に指導・助言を行った。

令和元年6月30日(日) 心理分野 ホッケー少年男子 20人

令和元年7月17日(水) 栄養分野 ホッケー成年男子 49人

(ウ) 国民体育大会へのスポーツドクターの帯同

国体参加時にスポーツドクターを帯同させ、選手の緊急医療時の対応やドーピング関係薬物の対応を行った。

6 スポーツ環境の整備

(1) 人材の養成

ア 子どものための人材養成

(ア) スポーツ少年団認定員養成講習会

地域における単位団活動の中心的指導者として指導・運営を行う指導者を養成する講習会を開催した。参加者総人数152人

第1回 令和元年 8月24日(土)から25日(日)小瀬スポーツ公園武道館

第2回 令和元年10月19日(土)から20日(日)小瀬スポーツ公園武道館

第3回 令和元年12月21日(土)から22日(日)小瀬スポーツ公園武道館

(イ) スポーツ少年団指導者研修会

指導者等の資質向上と指導者相互の連帯を図るため、研修会を開催した。

令和元年12月7日(土) 緑が丘スポーツ公園スポーツ会館 参加者55人

(ウ) 関東ブロックスポーツ少年団指導者研究協議会

関東ブロック各都県のスポーツ少年団登録指導者の相互の連携と資質・指導力の向上を図り、指導活動の促進方法について協議するとともに、スポーツ少年団活動の推進に資するため研究協議会に4人を派遣した。

令和元年11月2日(土)から3日(日) 茨城県

(エ) スポーツ少年団リーダーの養成

リーダー会の育成や指導者協議会との連携により、将来の指導者を養成するとともに、少年団の円滑な活動の推進を図った。

a ジュニア・リーダースクールの開催

単位団において、団員の模範となって活動する少年リーダーを養成した。

令和元年11月23日(土)から24日(日) 緑が丘スポーツ公園スポーツ会館・体育館
参加団員37人

b シニア・リーダー研修会

中学生以上で、シニア・リーダー資格取得に意欲のある団員を集め、資質向上のための研修を開催した。

令和2年 2月22日(土) 小瀬スポーツ公園体育館 参加団員18人

c リーダーの派遣

日本スポーツ少年団シニア・リーダースクール

令和元年 8月8日(木)から 8月12日(月) 静岡県 参加団員2人

関東ブロックスポーツ少年団リーダー研究大会

令和元年10月19日(土)から20日(日) 埼玉県 参加団員3人 指導者1人

全国スポーツ少年団リーダー連絡会

令和元年 6月15日(土)から 6月16日(日)

東京都 参加団員1人 指導者1人

イ 生涯スポーツのための人材養成

(ア) スポーツリーダー養成講習会

地域におけるスポーツグループやサークルなどのリーダーとして、基礎的なスポーツ指導や運営にあたることのできる指導者を養成する講習会を開催した。

令和元年5月18日(土)から19日(日) 小瀬スポーツ公園体育館 参加者17人

(イ) 公認コーチ1養成講習会

地域において、子ども達や初心者を対象に、競技別の専門的な知識を活かし、個々の指導対象にあわせた指導が可能となる指導者を養成する講習会を開催した。

自転車競技(委託講習会) 参加者 8人 バドミントン(委託講習会) 参加者 15人

(ウ) スポーツドクターの確保

医・科学委員会との連携と医師の協力のもと、スポーツドクターの確保のため、日本スポーツ協会開催の養成講習会へ2人の推薦を行った。

(エ) アスレティックトレーナーの確保

医・科学委員会及び競技団体と連携を図り、アスレティックトレーナーの確保のため、日本スポーツ協会開催の養成講習会へ1人の推薦を行った。

(オ) スポーツ指導者研修会の開催

公認スポーツ指導者の資質の向上と活動促進、指導者の連帯感を深めるため、研修会を開催した。総参加者281人

第1回	令和元年6月 8日(土)	小瀬スポーツ公園武道館	参加者172人
第2回	令和元年8月31日(土)	甲斐市竜王北部公民館	参加者 50人
第3回	令和2年2月16日(日)	富士河口湖町勝山ふれあいセンター	参加者 59人

(キ) 山梨県スポーツ指導者協議会への助成

組織の強化充実並びに運営経費に助成した。

(2) スポーツ拠点の充実

ア 地域スポーツの充実

(ア) スポーツ振興ブロック会議

スポーツの振興に関し、各地域の市町村のスポーツ関係者と地域の課題等について意見交換を行い推進強化を図った。

富士・東部地区	令和元年 6月21日(金)	富士ふれあいセンター	62人
中北地区	令和元年 6月24日(月)	北巨摩合同庁舎	76人
峡東地区	令和元年 6月27日(木)	甲州市民文化会館	45人
峡南地区	令和元年 7月 2日(火)	身延総合文化会館	60人

(イ) 山梨県スポーツ推進委員協議会との連携

各地域の県民がスポーツの生活習慣化できるような魅力ある事業を展開し、スポーツ拠点を拡充できるよう、山梨県スポーツ推進委員協議会との連携を図った。

(ウ) 企業・大学との連携

- a 民間団体との共催事業を展開することにより、民間の持つノウハウ又はネットワーク等を活用し、各年齢層を対象とした各種事業展開を行った。
- b 高齢者の健康体力づくりのために、県下に6つある「山梨ことぶき勸学院」の生徒を対象に、有資格者による運動指導を行った。

イ 総合型地域スポーツクラブの育成・推進

(ア) 広域スポーツセンターの運営

県が設置した広域スポーツセンターを運営し、総合型地域スポーツクラブの創設や運営及びスポーツ活動について効率的に支援するとともに、スポーツクラブ運営の助言及び指導を行った。

広域スポーツセンター運営会議	第1回	令和元年 6月26日(水)
	第2回	令和元年 9月25日(水)
	第3回	令和2年 3月11日(水) ※中止

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

(イ) 総合型地域スポーツクラブの支援・育成

県教育委員会と連携し、日本スポーツ協会クラブアドバイザーとともに県内各市町村を訪問し、総合型地域スポーツクラブの設立依頼や状況把握を行うとともに、スポーツクラブ

運営の助言および指導を行った。

(ウ) やまなし総合型スポーツクラブフェスタ

クラブ相互の交流と認知度アップを図るとともに、広く県民に参加を呼びかけ、スポーツ実施率の向上を促す契機とするため、県内スポーツクラブと連携しフェスティバルを開催した。

令和元年11月2日(土) 小瀬スポーツ公園体育館 参加者228人

ウ 管理施設の環境の充実

本協会が管理している施設を県民に親しんでもらえるよう、サービスの向上に取り組んだ。特に富士北麓公園ではラグビーワールドカップの事前キャンプに対応するため、県からの業務委託を受け芝生の張替に取り組み「見るスポーツ」の機会充実とスポーツへの関心、興味、参加を促した。また、プロスポーツ大会の誘致のほか、教育や文化、福祉、産業振興などの幅広い分野での誘致を行った。

さらに、利用者の安全・安心、快適な利用のために、日々の施設の環境整備に取り組み、特に境川自転車競技場では公益財団法人JKAや山梨県教育委員会の補助により走路補修工事やスタンドの日除けテントの新設を行った。

また、小瀬スポーツ公園、富士北麓公園の指定管理事業においては、全国各地で多種多様なスポーツ施設の管理運営を手掛けるミズノ株式会社とミズノスポーツサービス株式会社と協力して、より充実した管理体制(施設管理、運動プログラム、職員研修)を整え、新たな事業や施設運営に取り組んだ。

(ア) 管理受託施設

a 小瀬スポーツ公園	643,917 人(前年度 686,290 人)
b 富士北麓公園	215,948 人(前年度 228,934 人)
c 緑が丘スポーツ公園	177,566 人(前年度 231,575 人)
d 八ヶ岳スケートセンター	13,812 人(前年度 16,737 人)
e 八代射撃場	1,514 人(前年度 2,059 人)

(イ) 直営施設

a 境川自転車競技場	8,702 人(前年度 10,960 人)
------------	-----------------------

(3) スポーツの啓発

ア スポーツ情報発信

(ア) インターネットの活用

- ・インターネットを活用し、管理施設の情報、スポーツ教室やイベントの紹介を行った。
- ・やまなしスポーツ情報ネット内にシステム化されている「スポーツ指導者バンク」の運営を行い、スポーツ指導者の登録、紹介を行った。
- ・やまなしスポーツ情報ネットのスポーツ新着情報や大会情報等の更新を行った。
- ・スポーツ振興事業等の情報提供の場として SNS を活用し情報発信を行った。

(イ) 広報誌の活用

- ・情報交換と提供の場としてスポーツ協会広報誌「やまなし体協」とスポーツ少年団広報誌「わかば」を発行した。

イ 各種表彰

(ア) スポーツ協会表彰

体育・スポーツに尽力された方や全国大会及び世界大会に出場し優秀な成績を残した県内選手個人並びに団体、指導者を表彰した。

体育功労者78人 特別優秀選手13人 優秀選手48人・団体11チーム

優秀指導者 1人 奨励賞10人・団体1チーム

(イ) スポーツ少年団表彰

永年に亘り、団活動を活発に行い他の模範となるような単位団、並びに団活動に尽力しその功績が顕著な指導者を表彰した。

優良単位団 1団 優秀指導者 3人

(ウ) 候補者の選考・推薦

文部科学省生涯スポーツ功労者、生涯スポーツ優良団体表彰、やまなしスポーツ賞、日本スポーツ協会公認スポーツ指導者表彰、日本スポーツ少年団顕彰、ミズノメントール賞、日本スポーツグランプリの選考・推薦を行った。

7 国際交流の推進

(1) スポーツ少年団のスポーツ交流

ア 日独スポーツ少年団同時交流

日独の友好と親善を深め、国際的能力を高めるとともに、スポーツ少年団の発展に寄与するため、両国のスポーツ少年団の優れた青少年及び指導者の相互交流を行った。

派遣事業 令和元年 7月31日(水)から 8月17日(土) 派遣団員1人

受入事業 令和元年 7月29日(月)から 8月 2日(金) 大月市

(2) 東京オリンピック・パラリンピック

東京オリンピック・パラリンピック山梨県実行委員会において、常任委員として聖火リレーセレモニー等の各種事業の検討や、専門部会において機運醸成に向けて取り組んだ。

8 スポーツ界の透明性、公平・公正性の向上と補償制度の推進

(1) スポーツ界の透明性、公平・公正性の向上

ア ガイドラインの運用

運営の透明性確保等のガバナンス(内部統治機構)の確立に向け、ガイドラインの運用を進めた。

イ アンチ・ドーピングの啓発

(ア) アンチ・ドーピング講習会

薬物乱用、誤用の認識を高め、健全なスポーツ活動を推進するため、講習会を開催した。

第1回 令和元年 6月13日(木) 小瀬スポーツ公園武道館 18競技 44人

第2回 令和元年 6月22日(土) 小瀬スポーツ公園武道館 10競技 36人

(イ) 競技別アンチ・ドーピング講習会の開催

選手が多く集まる練習会に出向き、講習会を行った。

令和元年5月21日(火) サッカー成年 35人

ウ ハラスメントの撲滅

選手同士また選手と指導者がお互いを信頼してスポーツを行えるように、いじめや暴力・暴

言、セクハラ等、これまでの指導方法の中に起こりうるハラスメントについて公認スポーツ指導者及びスポーツ少年団指導者に注意喚起を行った。

エ スポーツにおける暴力行為等相談窓口の設置

「スポーツにおける暴力行為等に関する相談窓口」の直通電話への暴力行為等に関する相談及び問い合わせに対応した。

オ スポーツ仲裁自動応諾条項の採択の普及

スポーツ関係団体が、スポーツに関するルールの透明性を高め、健全なスポーツの発展に寄与していく組織づくりの機会になるよう、仲裁自動応諾の採択を加盟団体に対して働きかけた。

カ フェアプレイ宣言の推進

スポーツを真に楽しく行う上では欠かせないフェアプレイを推進するため、スポーツ活動のあらゆる場面で協力及び実践の呼びかけを行った。

(2) 補償制度の推進

ア スポーツ安全保険の加入促進

関係スポーツ団体に対し、団体活動中に発生する怪我や損害等に備え、安心してスポーツが行えるようスポーツ安全保険への加入を促進した。

イ スポーツ傷害見舞金の給付

スポーツ大会等に参加した選手等で負傷又は死亡した者に対し、見舞金の給付を行う旨を周知した。

ウ 主催者賠償責任保険の加入

主催事業で損害賠償事故が起きた場合に、補償できる体制を整えるため、主催者賠償責任保険へ継続加入した。

(収益事業等)

Ⅲ 利用環境・効率の向上

1 各種サービス事業

(1) レストラン・売店等の運営

公園来園者に対する飲食等の便宜供与のため、体育館レストラン・売店における飲食の提供、物品の販売を行うとともに、スケート靴等の貸し出しに係る斡旋業務を行いスポーツの普及支援の担い手として事業を展開した。

ア レストランの委託による運営

- ・営業時間 午前11時から午後6時まで(月曜日は休業)※祝日の場合は営業、翌日休業
- ・販売品目 ラーメン、カレーライス、ジュースなど常時約30品目
- ・営業日数 292日/年(前年度実績 281日/年)

イ 売店の運営

イベントや大規模大会等の開催時に売店を開設し、飲食物の販売を行う他、各施設の受付においてスポーツ用具(テニスラケット他)の貸出、テニスボール等の販売など施設利用者のニーズに応えた売店運営を行った。

・販売品目

臨時売店:焼きそば、飲料などを約10品目

受付販売:バスケットボール等の貸出、バドミントンシャトル等の販売

ウ 自動販売機の設置

管理施設内に自動販売機を設置し、清涼飲料水・乳飲料・アイスクリーム及び菓子類などの販売を行った。

・自動販売機の設置台数

小瀬スポーツ公園	45台(プール開放期間中は追加)
緑が丘スポーツ公園	10台
富士北麓公園	7台
八ヶ岳スケートセンター	2台(11月下旬から2月中旬まで)
境川自転車競技場	2台
八代射撃場	1台

エ スケート靴の斡旋

小瀬アイスアリーナ及び八ヶ岳スケートセンターにおいて、利用者にスケート靴の貸し出し業務を行った。

・貸靴種目 フィギュア他3種 約800足

・貸靴実績 小瀬アイスアリーナ	個人9,963足/年(前年度実績12,700足/年)
	団体7,549足/年(前年度実績 8,894足/年)
八ヶ岳スケートセンター	個人2,457足/年(前年度実績 3,027足/年)
	団体5,561足/年(前年度実績 6,635足/年)

オ ジョギングハウスの活用

ウォーキングやジョギングで小瀬スポーツ公園を訪れた方々が、気軽にトレーニングも行えるよう、ジョギングハウス内に容易に扱え、安全性の高いトレーニング器具を設置し、小瀬スポーツ公園の利用促進を図った。

カ スポーツ絵画・写真コンクールの開催

スポーツの絵画、写真を通して、スポーツへの関心を高めるとともに、県民のスポーツに対する意識の向上を図った。

キ 施設利用者への還元事業の実施

施設の利用促進と、日頃からの施設利用者に対する還元事業として、各種イベントを企画し利用者が楽しめる施設を目指した。

・クリスマス、バレンタイン企画 (利用者へプレゼント配布)

ク 福利厚生事業の支援

職員が安心して働ける職場づくりの推進を図るため、職員互助会の諸事業に対し支援を行った。

2 利用効率の向上

本協会が管理する各施設の利用効率の向上ため、公益目的以外の利用についても、サービスの向上と利用促進に努め施設の有効活用を図った。

理事会議決事項

回 数	開 催 年 月 日	議 決 事 項
第 1 回 (通常)	令和元年 6月 4日	1 平成30年度事業報告について 2 平成30年度予算の補正及び決算について 3 境川自転車競技場走路補修工事の実施について 4 令和元年度予算の補正について 5 令和元年度定時評議員会の招集について
第 2 回 (通常)	令和元年 8月 2日	1 公益財団法人山梨県スポーツ協会表彰について 2 山梨県知事等に対する要望について 3 令和元年度予算の補正について
第 3 回 (通常)	令和2年 3月12日 ※書面による決議	1 第2期スポーツ推進計画の策定について 2 令和2年度事業計画について 3 令和2年度収支予算について 4 令和元年度臨時評議員会の提案について 5 諸規程の改正について 6 令和元年度収支予算の補正について

評議員会議決事項

回 数	開 催 年 月 日	議 決 事 項
定 時	令和元年 6月20日	1 平成30年度事業報告について 2 平成30年度決算について 3 令和元年度予算の補正について 4 理事の選任について 5 評議員の選任について
臨 時	令和2年 3月24日 ※書面による決議	1 公益財団法人山梨県スポーツ協会定款の変更及び それに伴う評議員会運営規程の改正について 2 第2期スポーツ推進計画の策定について 3 令和2年度事業計画について 4 令和2年度収支予算について 5 令和元年度収支予算の補正について 6 理事の選任について 7 評議員の選任について